



平成20年4月8日

各位

会社名 サンケン電気株式会社
代表者名 代表取締役社長 飯島 貞利
コード番号 6707 (東証 市場第一部)
問合せ先 執行役員IR室長 太田 明
TEL (048)487-6121

平成20年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想につきまして、平成19年11月5日付の「平成20年3月期 中間決算短信」に記載の平成20年3月期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期 連結業績予想値の修正

通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年11月5日発表)	百万円 192,500	百万円 10,000	百万円 6,500	百万円 3,500
今回修正予想(B)	182,400	8,000	4,400	1,400
増減額(B-A)	△10,100	△2,000	△2,100	△2,100
増減率(%)	△5.2	△20.0	△32.3	△60.0
<ご参考>前期実績 (平成19年3月期)	203,815	15,014	12,745	7,499

2. 平成20年3月期 個別業績予想値の修正

通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年11月5日発表)	百万円 151,100	百万円 1,800	百万円 100	百万円 0
今回修正予想(B)	138,500	2,800	2,000	400
増減額(B-A)	△12,600	1,000	1,900	400
増減率(%)	△8.3	55.6	1,900.0	—
<ご参考>前期実績 (平成19年3月期)	155,565	10,104	9,574	6,192

3. 修正の理由

通期の連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。半導体デバイス事業およびCCFL事業における受注減に伴い、連結売上高は減少する見通しです。主な要因といたしましては、半導体デバイス事業におけるブラウン管テレビ向けの受注減が想定以上であったこと、また期初より悪化したCCFLの受注環境が第3四半期の終わりまで回復しなかったこと、加えて液晶テレビの大型化へのシフトが進まなかったことによる平均販売価格の下落などが挙げられます。

損益面につきましては、上記受注減に伴う工場稼働率の低下から、償却費などの固定費を吸収しきれなかったことにより、利益は減少する見通しです。

通期の個別業績予想につきましては、連結と同様売上高は減少する見込みですが、経費削減効果ならびに受取配当金の計上などにより、個別の損益につきましては、営業利益、経常利益、純利益いずれも増加する見通しです。

なお、期末配当につきましては、安定かつ着実な配当維持の観点から、当初の予定どおり1株当たり7円を予定しております。

※ 上記業績予想の数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上